

## 花巻管内における森林施業プランナー育成の取組(その2)について

### 1 はじめに

当センターでは、施業集約化の中心となって活躍する人材を育成するため、令和2年7～8月までの計4回、基礎的な知識を習得する森林施業プランナー育成研修を実施しました(2020-7号で報告)。今回は、これまで習得した基礎的な知識をもとに、11月18日に実践的な研修を行ったので概要を報告します。

### 2 研修の準備

施業集約化の取組は、森林資源の把握から施業の提案・実施など多岐の分野に渡っています。

今回は、4回の研修の復習として、スギの間伐方法、標準プロットの設定・調査及び施業プラン提案に絞り現地で実践研修を行いました。

林業普及指導員が、昨年間伐した林分に標準プロットを設置し、樹高、胸高直径を測定しました。測定結果等をもとに作成した森林施業プラン(参考例)を研修資料として準備しました。このプランは、伐採率、収量比数等が盛り込まれた森林診断結果が記載されているので、隣接する間伐前の林分と比較することとしました。

### 3 研修の実施

受講者は、意欲と能力のある林業経営体職員等比較的経験が浅い若手職員5名です。

まず、受講者が間伐前と後の林分の混み具合を確認し、違いが分かったところで、林業普及指導員が、施業の方法や標準プロットの設定の考え方などを説明しました。

それから受講者が樹高、胸高直径を測定、事前に林業普及指導員が測定したデータと照合

し、指導員が持参したパソコンで、伐採率、伐採材積、収量比数(Ry)等を計算し森林施業プランを確認しました。



受講者は森林施業プラン提案のイメージができたので、提案時の留意点等を熱心に質問していました。



### 4 今後の予定

今後、受講者は施業集約化の実践を行います。経験が浅い受講者にフォローアップしていきます。一方、研修を受講できなかった事業体職員のため、引き続き、集約化の中核となる人材の育成を図る取組を継続していく予定です。